

懐かしい思い出に包まれた中央保育所

4月から民営化となる中央保育所(弁城)で11月24日に町立保育所として最後のイベントが開かれました。園児による歌・太鼓やプロの手影パフォーマンスが披露され、保護者や卒園生、歴代保育士など約230人が参加。豚汁やおにぎりもふるまわれ、園内は手作りの園舎の写真を手にした来場者の懐かしむ声に包まれました。



↑大勢の来場者が見守る中、この日のために練習した歌を元気に披露する園児。

↓校長室で賞状を手渡された(左から)原田さん、井上さん、藤川さん、村尾くん。



金の 税の標語・作文表彰 田中から最高賞はじめ4賞受賞

田川間税会主催の「税の標語」募集で、7中学707作品から原田恵美さんが最高賞の全間連会長賞、井上柚さんが税務署長賞、藤川純奈さんが間税会会長賞に選ばれました。納税貯蓄組合主催の「税の作文」でも村尾泰賀くんが署連会長賞に選ばれ、全受賞者6人中4人が金田中から選出される優秀な結果を残しました。

各校を代表し、落ち着いた態度とはっきりとした口調で堂々と主張を発表。



各 第13回 福智町少年の主張大会 各校代表が堂々と思いつける

青少年育成町民会議主催の「少年の主張大会」が12月2日に公民館金田分館で開かれました。各校代表の小学6年生と中学2年生が未来の夢や社会への意見、日常生活で感じたことを堂々と発表。最優秀賞に輝いた赤池中の谷口さんは、父と活動した朝倉市での災害復興支援の体験談を語りました。会場からは8人の発表に惜しめない拍手が送られていました。

大人にこそ伝えたい絵本の深み

絵本を読む会ぶらんこが大人に向けた朗読会「絵本のつどい」を11月18日にふくちのちで行いました。6人の読み手が感情豊かに絵本を読み上げ、朗読後は選択した作品から伝えたい思いを解説。合間にマンドリンとギター演奏を交えた約2時間の朗読会で、会場は大人の深い絵本の世界に引き込まれていました。



↑物語の情景や人物の表情までも伝わるような岸谷代表の紙芝居形式の朗読。

↓入賞した早谷さん(写真⑥)と協力し献立を考案した澤村真奈美栄養教諭。



食 学校給食料理コンクールで早谷さんが入賞 文化への理解深める献立が高評価

県の学校給食料理コンクールが10月18日に筑紫野市で行われ、調理員の早谷和匡さんが佳作に入賞しました。審査では地元食材を盛り込んだ「白身魚の五色揚げ」など試作と練習を重ねた5品を調理。和食を代表する出汁の使用や衛生的な調理が高評価を得ました。受賞献立は1月に町内小中学校に並ぶ予定です。

ふるさとの魅力伝える地元高校生

KBCの企画で、福智町に密着したテレビやラジオ番組が1月14日から1週間に渡り放送される予定です。番組企画のひとつ「ハイスchool WISH」で田川高校3年生の堀田知海さん(金田)がリポーターを務め稲荷神社神幸祭やふくち☆リッチジェラートを紹介。町の魅力をPRする様子は1月19日17時55分から放送予定です。



↑スタッフの要望に笑顔で応え、初めてとは思えないリポートをみせた堀田さん。

↓募金箱を手づくりし、中心となって募金を集めた総務集金委員会の6人。



平 弁城小から平成筑豊鉄道に義援金 筑に思い込めた児童主体の募金活動

西日本豪雨被害を受けた平成筑豊鉄道を支援する義援金を、11月29日に弁城小児童が届けました。校内での呼びかけのほか文化祭などでも募金を集め、地域や先生・児童から16,243円が寄せられました。河合社長は「子どもの可能性と未来のため、平筑を走らせ続けたい」と完全復旧に向けた決意と感謝を伝えました。